

# 令和7年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ハスモンヨトウ（ダイズ：No. 1、野菜：No. 1）

令和7年8月6日  
鳥取県病害虫防除所

## 1. 発生状況等

### (1) ダイズ

ア フェロモントラップによるハスモンヨトウの、7月第6半旬までの総誘殺数は平年より多い（図1）。今後の気象予報は本種の発生に助長的であることから、次世代以降の発生も多いと予想される。

イ 8月5日現在、既に白変葉の発生がみられている地域もあり、今後さらに、食害被害が増加することが懸念される。

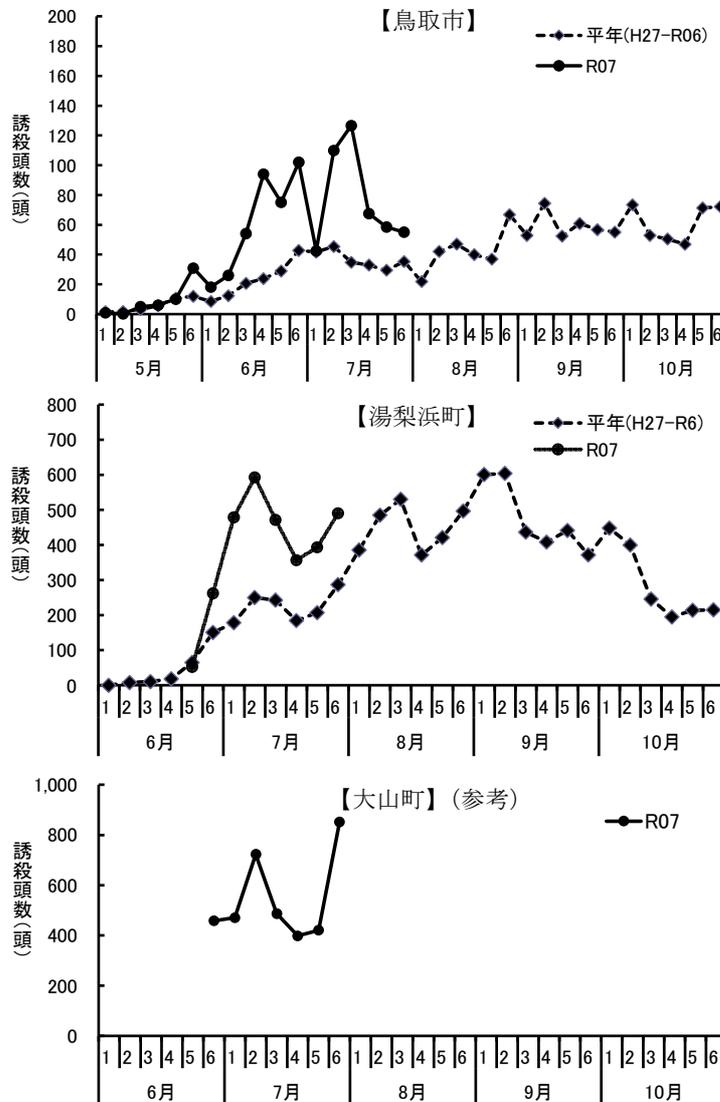


図1 フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数（ダイズ）

注1) 大山町における調査は、令和7年より実施。

注2) トラップの種類 鳥取市：武田乾式トラップ

湯梨浜町、大山町：ファネルトップ

(2) 野菜

7月第6半旬現在のフェロモントラップ（ファネルトラップ）によるハスモンヨトウの誘殺数は大山町でやや少なく、北栄町でやや多い。今後、次世代による食害被害が増加すると予想される（図2、図3）。

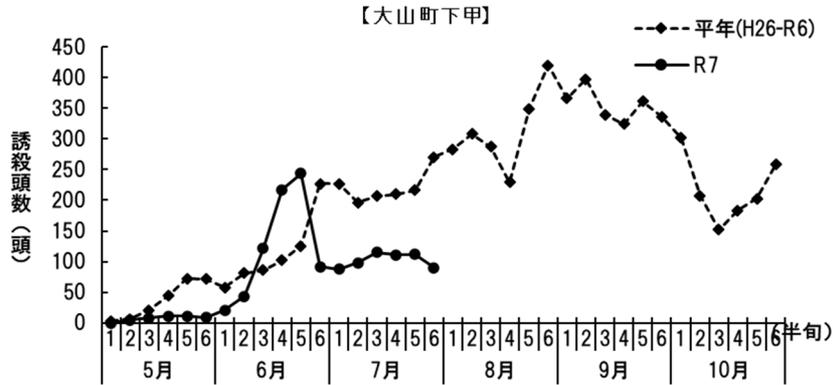


図2 フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数（調査地点：大山町下甲）

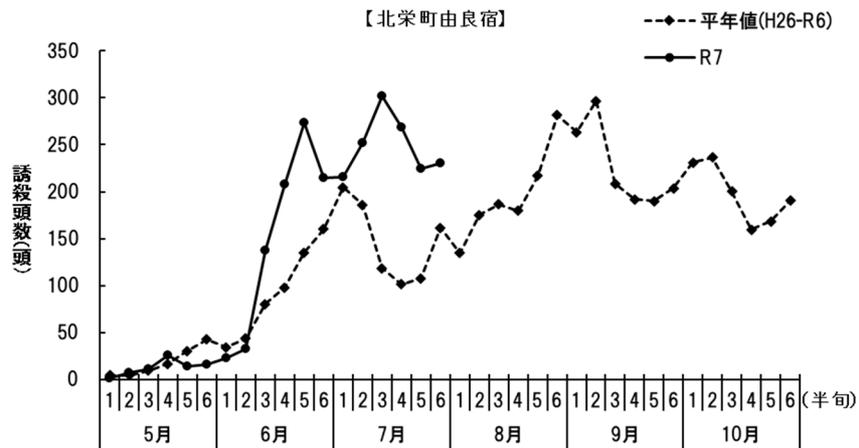


図3 フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数（調査地点：北栄町由良宿）

## 2. 防除上注意すべき事項

### (1) ダイズ

ア ハスモンヨトウの発生は地域間差、ほ場間差が大きいので、若齢幼虫の加害によって発生する白変葉の早期発見に努める。さらに新葉の展開により白変葉の発見が困難となる場合もあるので、可能な限りほ場内に入って観察を行う。

イ 防除の目安は、1 a 当たりの白変か所数5か所以上とする。

ウ 若齢幼虫（体長1 cm 以下）に対する登録農薬の効果は高いが、齢期が進むと防除効果が低下するため、散布適期を失わないようにする。なお、既に中齢～老齢幼虫が混在する場合は、ジアミド系殺虫剤を散布する。



写真1 ハスモンヨトウの若齢幼虫



写真2 若齢幼虫による被害（白変葉）

### (2) 野菜

ア 薬剤の感受性が高い若齢幼虫（体長1 cm 以下）のうちに防除を行う。食害痕がみられ始める頃が防除適期である。

イ 食害痕は不整形の白斑となり、さらにかすり状に透けて見える。はじめ卵塊から孵化した幼虫は集団で産卵場所やその周辺にとどまり、葉の表皮を残して葉肉部を食害する。ほ場内を観察し、食害痕が目立つ株に注意する（図3～5）。

ウ 食害痕及び若齢幼虫の発生が見られた場合には、表1を参考に薬剤防除を行う。



写真3 ハスモンヨトウ老齢幼虫



写真4 ハスモンヨトウの若齢～中齢幼虫



写真5 ハスモンヨトウの卵塊

表1 ハスモンヨトウの主な防除薬剤と使用基準

作物名	農薬の名称	希釈倍数	収穫前日数	本剤の使用回数	IRACコード*	薬剤の系統
ブロッコリー	ディアナSC	2,500～5,000倍	収穫前日まで	2回	5	スピノシン
	フローバックDF	1,000倍	発生初期 但し収穫前日まで	-	11A	BT
	カスケード乳剤	4,000倍	収穫7日前まで	2回	15	IGR脱皮阻害
	ファルコンフロアブル	4,000倍	収穫3日前まで	2回	18	IGR脱皮促進
	アクセルフロアブル	1,000～2,000倍	収穫前日まで	2回	22B	メタフルミゾン
	プレバゾンフロアブル5	2,000倍	収穫前日まで	3回	28	ジアミド <sup>†</sup>
	フェニックス顆粒水和剤	2,000～4,000倍	収穫前日まで	2回	28	
	プロフレアSC	2,000～4,000倍	収穫前日まで	3回	30	メタジアミド <sup>†</sup>
	グレーシア乳剤	2,000～3,000倍	収穫7日前まで	2回		イソキサゾリン
	プレオフロアブル	1,000倍	収穫7日前まで	2回	UN**	ピリタリル
キャベツ	ディアナSC	2,500～5,000倍	収穫前日まで	2回	5	スピノシン
	アニキ乳剤	1,000～2,000倍	収穫3日前まで	3回	6	マクロライト <sup>†</sup>
	アタブロン乳剤	2,000倍	収穫7日前まで	4回	15	IGR脱皮阻害
	マトリックフロアブル	2,000倍	収穫7日前まで	4回	18	IGR脱皮促進
	ファルコンフロアブル	2,000～4,000倍	収穫7日前まで	2回		
	トルネードエースDF	2,000倍	収穫7日前まで	2回	22A	オキサジアジン
	アクセルフロアブル	1,000～2,000倍	収穫前日まで	3回	22B	メタフルミゾン
	フェニックス顆粒水和剤	2,000～4,000倍	収穫前日まで	3回	28	ジアミド <sup>†</sup>
	グレーシア乳剤	2,000～3,000倍	収穫7日前まで	2回	30	イソキサゾリン
	プレオフロアブル	1,000倍	収穫7日前まで	2回	UN**	ピリタリル

\* 殺虫剤コード。殺虫剤の有効成分を作用点作用機構から分類した番号や記号のことで、本コードが異なる薬剤を使用することにより、同一系統の薬剤の連用を防ぐことができる。 \*\*作用機構が不明あるいは不明確な薬剤